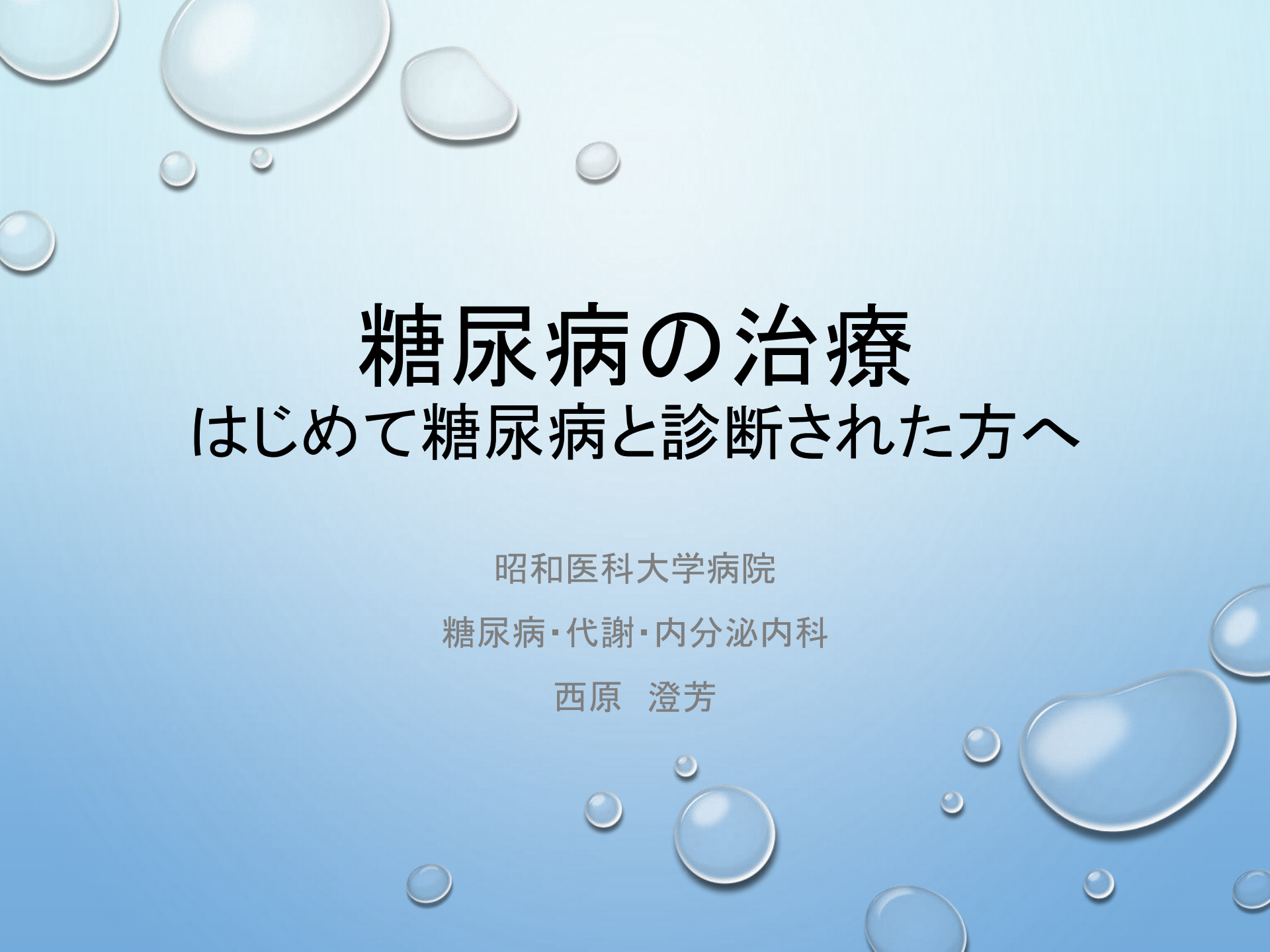




糖尿病の治療

はじめて糖尿病と診断された方へ

昭和医科大学病院

糖尿病・代謝・内分泌内科

西原 澄芳

都内在住のAさんはある日、健診で糖尿病と診断されました。近くの内科を受診し、とりあえず運動と食事に気を付けるようにといわれました。1か月後の次の外来であんまり効果がないからお薬を出しましょうと言われたけれど、糖尿病の治療って何をしているのかしら...



糖尿病外来での大まかな流れ



まずは受診動機を聞きます。
また、高血糖による症状・合併症を疑う症状など緊急性を判断します。
生活習慣、体重歴や家族歴などいろいろなお話をします。

糖尿病外来での大まかな流れ



治療目標は年齢・罹病期間・臓器障害・低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して個別に設定します

治療目標

- 高血糖に起因する代謝異常(口渇・多飲・多尿・体重減少)を改善すること
- 糖尿病に特徴的な合併症および併発症の発症・増悪を防ぐこと
- 糖尿病がない人と変わらない生活の質・寿命を実現すること

糖尿病診療ガイドライン2024から

糖尿病外来での大まかな流れ



まずはインスリンの適応か否かを中心に選択を開始します

※インスリンの依存状態・高血糖の昏睡・妊娠・全身管理が必要な外科手術・重症感染・静脈栄養時などはインスリンの適応です

インスリン非依存状態の糖尿病の治療

食事療法

運動療法

血糖降下薬

緊急性のない場合は十分な非薬物療法から始めます

糖尿病の薬

- A-グルコシダーゼ阻害薬
- SGLT-2阻害薬
- チアゾリジン薬
- ビグアナイド薬
- イメグリミン
- DPP-4 阻害薬
- GLP-1 受容体作動薬
- GIP/GLP-1 受容体作動薬
- スルホニル尿素薬
- 速効型インスリン分泌促進薬

経口薬は9種類
注射剤は2種類
あります！

どうやって血糖降下薬を選択しているのか？

- 糖尿病の合併症や低血糖のリスク・コストなどを中心に内服を決定します。
- 内服の回数や肥満・非肥満などを考慮しています。



最近よくある質問...



食事も運動も最近気を付けているけれどなかなか痩せないわ...

最近体重に効果のある薬があるって聞いたけれど...

それはGLP-1 受容体作動薬
もしくはGIP/GLP-1 受容体作動薬かもしれません

GLP-1 受容体作動薬 GIP/GLP-1 受容体作動薬

- 血糖値に依存して食後のインスリン分泌促進
- グルカゴン分泌を抑制
- 食欲中枢に働いて食欲抑制



注意

- 内因性のインスリン分泌が低下している場合はインスリンからの切り替えは高血糖のリスクがあります
- SU薬やインスリン製剤の併用で低血糖発症頻度の増加します
- 消化器症状の副作用が出る方がいます

注意

- 悪心・便秘・下痢・食欲減退

→開始後に症状出ることがあるがが段々と慣れてくることが多い

低用量からの
投与開始

最後に

糖尿病の治療薬は日々多様化しています。

目標・治療に関しても主治医とご相談の上、治療を決定してください

